

九州地方の火山活動解説資料（平成 14 年 8 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

九州地方の火山



▲：桜島

桜島南岳の火山活動は比較的静穏で、8月の噴火回数は3回(爆発2回)でした。

▲：諏訪之瀬島

諏訪之瀬島は、19日未明から、やや規模の大きな連続的な噴火が発生し、21日まで活発な噴火活動が続きました。また、この期間爆発が35回発生しました。今回の噴火で、島内では空振を伴った爆発音や鳴動が聞かれました。噴煙は多量の火山灰を含み最高高度は火口上約1,500m(21日)の高さに達しました。

20日には奄美大島の名瀬市(諏訪之瀬島の南約140km)で弱い降灰が観測されました。噴火活動は26日頃から収まってきています。

●：阿蘇山

中岳第一火口の南側火口壁の温度は依然として高い状態で、火口内は全面湯だまりが続いています。

孤立型微動が5日から増加し、15日の340回をピークにその後は徐々に減少しました。孤立型微動の増加に伴う表面現象は特に観測されていません。

●：霧島山

御鉢を震源とする火山性微動を5日、6日に各1回観測しました。このうち、5日の火山性微動発生直後から、御鉢付近を震源とする地震がやや多くなりました。表面現象には変化ありません。

○：九重山、雲仙岳、薩摩硫黄島、口永良部島

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態が続きました。

火山情報発表状況

火 山 名	情 報 名	発表日時	概 要
霧 島 山	火山観測情報 3 号	6 日 10 時 30 分	微動・地震の状況
阿 蘇 山	火山観測情報 2 号	9 日 16 時 00 分	孤立型微動の増加
〃	火山観測情報 3 号	14 日 16 時 45 分	孤立型微動が引き続き多い状態
〃	火山観測情報 4 号	21 日 11 時 40 分	孤立型微動の減少
諏訪之瀬島	臨時火山情報 1 号	19 日 10 時 00 分	噴火活動活発
〃	火山観測情報 8 号	19 日 16 時 40 分	噴火活動継続
〃	火山観測情報 9 号	20 日 16 時 30 分	噴火活動継続
〃	火山観測情報 10 号	21 日 17 時 30 分	噴火活動継続
〃	火山観測情報 11 号	22 日 16 時 35 分	噴火活動継続
〃	火山観測情報 12 号	23 日 16 時 30 分	噴火活動継続
〃	火山観測情報 13 号	26 日 16 時 40 分	火山活動低下

次回の火山活動解説資料の公表は 10 月 7 日(月)の予定です。